

博多区内科医会だより

押領司行人

平成22年4月 第35回定時総会・学術講演会

4月13日 (アクア博多)

演題 「これからのインフルエンザ診療」

特定医療法人 原土井病院 臨床研究部
部長 池松秀之先生

平成22年5月例会

5月11日 (アクア博多)

特別講演 「Ca拮抗剤と虚血性心疾患」

福岡大学筑紫病院 内科第一 診療長
教授 浦田秀則先生

CVD予防には2-3剤の降圧剤が必要で、Ca拮抗剤とACE阻害剤の組み合わせが世界的には1番多い。NaClは組織のアンジオテンシンIIを増加させるから塩抜きするとRA系薬が有効。Ca拮抗剤も利尿効果がある。虚血性心疾患にはCa拮抗剤を使うべきだが冠レン縮性狭心症には他よりコニールのほうが良い。

平成22年6月例会

6月8日 (アクア博多)

特別講演 「『咳』を診る一日常診療でよく遭遇する『咳嗽』マネジメント」

産業医科大学 呼吸器病学
講師 矢寺和博先生

乾性咳嗽 (アトピー咳、咳喘息、副鼻腔気管支症候群、ACE)、湿性咳嗽 (副鼻腔気管支症候群、後鼻漏)、急性咳嗽、亜急性咳嗽、慢性咳嗽 (GERD、心因性咳嗽、咳喘息、百日咳、アトピー咳、心不全、喫煙者、肺線維症)、

博多区・粕屋内科医会合同学術講演会

平成22年5月14日 (博多都ホテル)

講演 『新ガイドラインを踏まえた脳卒中治療の考え方』

誠愛リハビリテーション病院 院長 井林雪朗先生

脳卒中死亡は減少している。高血圧(jカーブ減少はある)、年齢(65歳以上)、糖尿病、コレステロール値はリスクである。アテローム型、心源性、ラクナ型が同比率となった。ワルファリンの代用薬がある。ARBなど脳血流改善する。脳卒中のバイオマーカーを研究中である。福岡脳卒中登録システムを確立した

平成22年7月例会

7月13日 (アクア博多)

特別講演 1: 「自己免疫性肝疾患の治療のポイント」

九州大学大学院 病態修復内科学

助教 下田慎治先生

2 : 「肝臓疾患の最近の話題」

九州大学病院 総合診療科
教授 林純先生

1 . PBC は組織学的に慢性化膿性破壊性胆管炎で抗ミトコンドリア抗体陽性でなるべく早くウルソを使う。自己免疫性肝炎とは抗核抗体など陽性でステロイド、免疫抑制剤で治療。原発性硬化性胆管炎は稀で、胆管癌との鑑別を要する。

2 . ウイルス肝炎のうち、B型のGenotypeA,B,Cによる違い、C型のGenotype I,IIによる違いの講演。

2) 研究会御案内(自由参加、5単位)

消化器懇話会(博多シティセンター)

第1月曜 19:00～ 古賀安彦先生(古賀胃腸科医院)

循環器懇話会(博多シティセンター)

第4月曜日 19:00～ 林靖生先生(原三信病院)

丸山徹先生(九州大学健康科学センター)